



## 平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場会社名 日東精工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5957 URL <http://www.nittoseiko.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 材木 正己  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 今川 和則 (TEL) 0773(42)3111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	17,633	△10.3	1,365	△32.0	1,533	△28.5	861	△33.8
26年12月期第3四半期	19,657	9.6	2,007	18.5	2,146	17.2	1,300	24.1

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 654百万円(△58.6%) 26年12月期第3四半期 1,582百万円(△0.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年12月期第3四半期	22	60	—	—
26年12月期第3四半期	34	12	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
27年12月期第3四半期	34,950		23,391		61.5
26年12月期	35,950		23,407		59.5

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 21,496百万円 26年12月期 21,398百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26年12月期	—	—	4	00	4	50
27年12月期	—	—	4	00	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	—	4	50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	25,055	△4.4	2,069	△14.7	2,208	△17.5	1,152	△24.1	30	23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) : 有・無  
、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

③ 会計上の見積りの変更 : 有・無

④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	39,985,017株	26年12月期	39,985,017株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	1,879,744株	26年12月期	1,870,812株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	38,111,524株	26年12月期3Q	38,108,711株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧米は堅調に推移しましたが、アジアでは中国経済の減速の影響を受け、新興国・資源国を中心とする周辺国経済も低迷しました。わが国は、原油安効果などにより企業収益は好調に推移したものの、輸出の伸び悩みや在庫率の高まりにより、力強さを欠く状況となりました。

このような経営環境のもと、当社グループは、当連結会計年度からスタートさせた「締結・組立・計測検査分野における飛躍的成長への挑戦」を経営ビジョンとする新中期経営計画「日東パワーアッププランFINAL」（平成27年～30年）の達成に向け、事業力の強化、人材力の強化、グローバル力の強化、ブランド力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は176億3千3百万円（前年同期比10.3%減）、営業利益は13億6千5百万円（前年同期比32.0%減）、経常利益は15億3千3百万円（前年同期比28.5%減）、四半期純利益は8億6千1百万円（前年同期比33.8%減）となりました。

セグメント別の概況につきましては、次のとおりです。

## &lt;ファスナー事業&gt;

当事業につきましては、中国などアジア新興国の景気減速の影響を受け、精密機器関連業界の需要は、国内、海外ともに低調な推移となりました。

このような状況のもと、自動車関連業界向けに低燃費化や締結品質の向上に寄与するセルフタッピンねじの販売促進を積極的に展開するとともに、国内製造工場の生産体制の効率化、海外工場での設備投資による生産体制の強化を行いました。

この結果、売上高は121億2千4百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は5億6千5百万円（前年同期比35.3%増）となりました。

## &lt;産機事業&gt;

当事業につきましては、単軸締付機、ねじ締めロボットなどの標準機種製品は、中国・北米市場で伸長し、国内においても自動車関連業界や住宅関連業界で堅調に推移しました。一方、自動組立ラインは、主な需要先において既存設備の改造対応にとどまるなど、設備投資の力強さを欠き低調となりました。

このような状況のもと、海外展開が進むユーザーをターゲットとして、欧米仕様に対応する各種コントローラの販売促進を積極的に展開しました。

この結果、売上高は39億7百万円（前年同期比26.2%減）、営業利益は7億2千5百万円（前年同期比45.4%減）となりました。

## &lt;制御事業&gt;

当事業につきましては、主力製品である流量計は造船業界で堅調に推移したものの、後半に入り、中国・韓国を中心に海洋開発分野の需要が減少しました。システム製品は、部品検査選別装置が、検査精度の向上・省力化への関心の高まりで増加傾向となりました。地盤調査機「ジオカルテ」は、住宅着工状況に明るさが見え始めたものの、需要回復にはいたっていません。

このような状況のもと、環境意識の高い業界へのマイクロバブル洗浄機の販売促進、「ジオカルテ」の土木分野向けモデルの開発に取り組みました。

この結果、売上高は16億2百万円（前年同期比11.8%減）、営業利益は7千3百万円（前年同期比71.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、未収入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ10億円減少し、349億5千万円となりました。

また、負債は、未払金や未払法人税等の減少などにより、前連結会計年度末に比べ9億8千4百万円減少し、115億5千9百万円となりました。

なお、純資産は、為替換算調整勘定のマイナス幅の拡大などにより、前連結会計年度末に比べ1千5百万円減少し、233億9千1百万円となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、概ね予想の範囲内で推移しており、平成27年8月6日に公表した平成27年12月期の通期の業績予想を変更していません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首において利益剰余金が163,144千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,183,427	6,096,410
受取手形及び売掛金	7,044,541	7,077,438
商品及び製品	1,460,070	1,544,928
仕掛品	1,464,113	1,444,077
原材料及び貯蔵品	1,386,565	1,419,170
繰延税金資産	104,950	102,710
未収入金	1,387,163	897,932
その他	88,773	166,113
貸倒引当金	△4,389	△4,453
流動資産合計	19,115,215	18,744,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,397,063	2,587,795
機械装置及び運搬具(純額)	1,692,961	1,714,790
土地	4,128,508	4,111,556
建設仮勘定	374,975	140,980
その他(純額)	302,199	303,285
有形固定資産合計	8,895,709	8,858,408
無形固定資産		
ソフトウェア	74,460	68,976
その他	14,407	11,068
無形固定資産合計	88,868	80,044
投資その他の資産		
投資有価証券	1,442,648	1,501,721
長期貸付金	-	3,568
繰延税金資産	722,672	670,724
退職給付に係る資産	793,255	339,013
長期預金	4,551,000	4,411,000
その他	342,369	343,725
貸倒引当金	△1,000	△2,000
投資その他の資産合計	7,850,945	7,267,754
固定資産合計	16,835,522	16,206,206
資産合計	35,950,738	34,950,536

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,966,499	3,020,052
短期借入金	2,765,758	2,666,810
未払金	1,882,220	1,578,717
未払法人税等	510,218	222,351
賞与引当金	153,968	399,089
その他	1,073,264	928,136
流動負債合計	9,351,930	8,815,158
固定負債		
長期借入金	643,300	654,700
役員退職引当金	126,900	81,850
退職給付に係る負債	2,297,210	1,874,360
その他	124,364	133,037
固定負債合計	3,191,775	2,743,947
負債合計	12,543,705	11,559,106
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,522,580	3,522,580
資本剰余金	2,518,891	2,518,891
利益剰余金	15,972,139	16,344,803
自己株式	△469,487	△472,627
株主資本合計	21,544,123	21,913,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190,913	183,043
為替換算調整勘定	△200	△286,138
退職給付に係る調整累計額	△336,014	△314,478
その他の包括利益累計額合計	△145,302	△417,573
少数株主持分	2,008,211	1,895,356
純資産合計	23,407,032	23,391,430
負債純資産合計	35,950,738	34,950,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	19,657,996	17,633,662
売上原価	14,642,302	13,330,651
売上総利益	5,015,694	4,303,010
販売費及び一般管理費	3,008,493	2,937,666
営業利益	2,007,200	1,365,344
営業外収益		
受取利息	29,005	33,609
受取配当金	6,465	12,493
受取賃貸料	51,811	51,422
為替差益	15,895	41,043
持分法による投資利益	37,808	35,487
その他	79,280	61,031
営業外収益合計	220,267	235,087
営業外費用		
支払利息	25,319	21,753
賃貸収入原価	33,417	26,562
その他	22,336	18,150
営業外費用合計	81,074	66,466
経常利益	2,146,394	1,533,965
特別利益		
固定資産売却益	287	5,133
負ののれん発生益	33,500	45,746
特別利益合計	33,788	50,879
特別損失		
固定資産処分損	6,803	18,021
特別損失合計	6,803	18,021
税金等調整前四半期純利益	2,173,378	1,566,824
法人税、住民税及び事業税	726,487	432,048
法人税等調整額	24,438	127,949
法人税等合計	750,926	559,997
少数株主損益調整前四半期純利益	1,422,452	1,006,826
少数株主利益	122,115	145,495
四半期純利益	1,300,336	861,330



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,422,452	1,006,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,945	△9,619
為替換算調整勘定	127,937	△284,045
退職給付に係る調整額	-	21,536
持分法適用会社に対する持分相当額	25,516	△79,857
その他の包括利益合計	160,398	△351,986
四半期包括利益	1,582,850	654,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,415,751	589,386
少数株主に係る四半期包括利益	167,099	65,454

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	ファスナー	産機	制御	計	
売上高					
外部顧客への売上高	12,543,738	5,296,786	1,817,471	19,657,996	19,657,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,543,738	5,296,786	1,817,471	19,657,996	19,657,996
セグメント利益	418,064	1,329,391	259,744	2,007,200	2,007,200

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

ファスナー事業において、東陽精工株式会社の子会社化に伴い、当第3四半期連結累計期間において、33,500千円の負ののれん発生益を計上しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	ファスナー	産機	制御	計	
売上高					
外部顧客への売上高	12,124,182	3,907,192	1,602,287	17,633,662	17,633,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,124,182	3,907,192	1,602,287	17,633,662	17,633,662
セグメント利益	565,554	725,849	73,940	1,365,344	1,365,344

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

ファスナー事業において、連結子会社である東陽精工株式会社の株式を追加取得したことに伴い、当第3四半期連結累計期間において、45,746千円の負ののれん発生益を計上しております。